

2013年6月6日

高機能フッ素樹脂フィルム「アフレックス®」を使用したブラジルのサッカースタジアムが完成  
～美しい独創的な形状のスタジアムの実現に軽くて柔軟なフッ素材料が貢献～

**AGC** 旭硝子株式会社

AGC（旭硝子株式会社、本社：東京都、社長：石村和彦）は、ブラジル・レシフェのサッカースタジアム“アリーナ・ペルナンブコ”の外装に、当社の高機能フッ素樹脂フィルム「アフレックス®」が使用されたことをお知らせします。

同スタジアムは、FIFAコンフェデレーションズカップのスペイン・ウルグアイ戦（現地時間6月16日）、日本・イタリア戦（現地時間6月19日）などが行われ、来年開催のFIFAワールドカップ™では本戦会場の一つとなります。

アリーナ・ペルナンブコには、厚さ 0.25mm のアフレックス®が外装の側面部全体に約 25,000 m<sup>2</sup>使用されており、軽量で柔軟なフッ素樹脂フィルムの特性により、曲線的で美しいスタジアムを実現しました。また、フィルムは光の拡散性にも優れるため、夜間は印象的にライトアップされ、世界が注目する熱戦を鮮やかに彩ります。

さらに、この外装材は、長寿命化につながる耐候性、汚れが付きにくい非粘着性なども高い水準で備えています。



【スタジアムライトアップ時の外観（イメージ）】

【スタジアム外装の側面部全体にアフレックス®を使用】

今回の採用によって、ドイツのアリアンツ・アリーナを始め、世界的なスポーツイベントや万博の会場などに数多く採用されたアフレックス®が、ブラジルのFIFAワールドカップ™にも新たな魅力を添えることとなります。

AGCは、このフィルム以外にも、競技者用ベンチ向けガラスルーフ<sup>注1</sup>をブラジル開催のFIFAコンフェデレーションズカップとFIFAワールドカップ™に提供します。また、ブラジルにはガラスの工場を建設中であり、本年下期に稼働を開始する予定です。

AGCは、2014年のFIFAワールドカップ™ ブラジル大会に向け、更なる技術開発に取り組み、4年に一度の祭典を盛り上げていきます。

注1：FIFAワールドカップ™ 競技者用ベンチ向け公式認定ガラスルーフ

#### ■AGCグループについて

旭硝子株式会社（AGC）を中心とするAGCグループは、建築・自動車・ディスプレイ用ガラス、化学品、その他の高機能材料を世界のお客様に提供するソリューション・プロバイダーです。100年以上に渡る技術革新の歴史の中で、当社グループはガラス、フッ素化学、セラミックスなどの分野で世界トップクラスのコア技術を培ってきました。現在、グループ全体の年間売上は約1.2兆円、従業員数約5万人であり、およそ30の国や地域でグローバルに事業を展開しています。

AGCグループに関する情報は、当社WEBサイト [www.agc.com/](http://www.agc.com/) をご覧下さい。

#### ■FIFAワールドカップ™ ブラジル大会におけるブランドライセンス契約締結について

AGCは、昨年10月末に、2014年FIFAワールドカップ™ ブラジル大会へのAGC製品の提供に関するブランドライセンス契約を締結しました。

対象製品はFIFAワールドカップ™ 競技者用ベンチ向け公式認定ガラスルーフ（Official Licensed Glass Roof of the 2014 FIFA World Cup™ Player Benches）であり、FIFAコンフェデレーションズカップ及びFIFAワールドカップ™ に製品を提供します。

ガラスルーフを使用した競技者用ベンチは、“アリーナ・ペルナンブコ”にも設置されることとなっており、FIFAコンフェデレーションズカップでは他5会場、FIFAワールドカップ™ 本戦では他11会場にも設置される予定です。

以上

◎本件お問合せ先：AGC 旭硝子㈱ 広報・IR室長 上田 敏裕

（担当：杉山 TEL:03-3218-5603、E-Mail:[info-pr@agc.com](mailto:info-pr@agc.com)）

<ご参考>

1. アリーナ・ペルナンブコ概要

所在地 : ブラジル ペルナンブコ州 レシフェ都市圏  
収容人員 : 約4万6千人

2. 高機能フッ素樹脂フィルム「アフレックス®」使用事例

(1) ミュンヘン・サッカースタジアム

「Allianz Arena」



(2) ニュージーランド・全天候型スタジアム

「Forsyth Barr Stadium」



©Copyright Reproduced Courtesy of Vector Foiltec